

ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減技術） の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 18 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

平成 18 年度から、ヒートアイランド対策分野「建築物外皮による空調負荷低減技術」を対象として、環境技術実証モデル事業を実施した。

平成 19 年度も、国負担体制 2 年目として同分野の環境技術実証モデル事業を実施。

19 年 7 月 26 日

平成 19 年度第 1 回 WG 開催

（ヒートアイランド対策技術（建築物外皮による空調負荷低減技術）実証試験要領（第 2 版）の検討及び実証機関の公募・募集に関する検討等）

（WG 検討員名簿は資料 1-7-2 参照）

2. 今後の予定

モデル事業のヒートアイランド対策分野に関する実証機関の公募（8/2～22）を行うこととしており、8 月下旬～9 月上旬に WG 検討委員により審査が行われる予定。

平成 19 年度環境技術実証モデル事業検討会
ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ 検討員名簿

足永 靖信 独立行政法人 建築研究所環境研究グループ 上席研究員

近藤 靖史 武蔵工業大学工学部建築学科 教授

佐土原 聡 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授

下田 吉之 大阪大学大学院工学系研究科 准教授

武田 仁 東京理科大学理工学部建築学科 教授

森川 泰成 大成建設株式会社建築技術開発部 部長

森田 浩康 大阪府環境農林水産部 みどり・都市室地球環境課 課長